

県立大“いつでも青春キャンパス®”

vol.5

シニア大学生4期生

キャンパスライフ報告

雑草、資源にできないか？

菊池さん 活用法を研究中

「嫌いな雑草を毎日刈っていたら腰を痛めて2年放置したの。草ぼうぼうになったけど、『あれ、雑草って綺麗かも』と思ったの。そこから好きになって」。シニア大学生の菊池令子さん(78)はこう語ります。青春キャンパスでの研究テーマは「野菜栽培での雑草すきこみの有用性」。アグリビジネス学科・露崎浩教授の指導で、乾燥・粉碎したスギナとドクダミをすき込み材として混ぜた土にシュンギクの種をまき、すき込みしていない土との成長の違いを調べます。「雑草の活用法を探るのは面白い着眼点」(露崎



教授)。研究結果に注目です。

◀ 研究用のプランターを準備する菊池さん(右)と露崎教授

「いつでも青春キャンパス®」は選考を経た65歳以上の県民が1年間勉強や研究に取り組める新プログラムです。過去の取り組みはこちらから――▶

